

令和 3 年度

北空知地域医療介護確保推進協議会

第 1 回会議（書面会議）議案

医療や介護が必要になっても
住みなれた自宅や地域で
自分らしく暮らしたい。
～その想いをかなえるために支援を行います～



令和 3 年 6 月 1 8 日

目 次

1. 北空知地域医療介護確保推進協議会	1 - 1
2. 北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議	1 - 3
3. I 医療介護相談・在宅生活支援部会	1 - 1 4
4. II 多職種連携・地域啓発部会	1 - 2 2
5. 令和2年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 (地域医療・介護連携推進事業)決算 令和2年度地域リハビリテーション活動支援事業 決算	1 - 3 1
6. 令和3年度北空知地域医療介護連携支援センター事業 (地域医療・介護連携推進事業)予算(案) 令和3年度地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)	1 - 3 2

令和３年度 北空知地域医療介護確保推進協議会

第１回会議議案

北空知地域医療介護確保推進協議会

○設置目的

北空知１市４町（深川市、妹背牛町、秩父別町、北竜町及び沼田町）間で、平成２８年３月１８日に締結した「北空知における地域医療・介護の提供体制の確保と連携に関する協定書」に基づく広域事業の実施について協議するために、関係市町、深川保健所、深川医師会、深川市立病院、深川地区消防組合、介護サービス事業者等の関係機関・団体が構成する「北空知地域医療介護確保推進協議会」を設置する。

○協議事項

広域的に実施する次に掲げる地域医療・介護に係る連携推進事業について協議する。

- (１) 救急医療及び地域医療の確保と連携推進に関する事業
- (２) 在宅医療・介護の連携推進に関する事業
- (３) 認知症施策の連携推進に関する事業
- (４) 介護及び生活支援サービスの確保と連携推進に関する事業
- (５) その他地域医療及び介護サービスの確保と連携推進に関する事業

《令和２年度事業報告》

1. 開催計画

- ・協議会の定期開催は６月を予定し、その他必要に応じて開催することとします。

2. 開催状況

○第１回会議 令和元年６月１５日（月）～２５日（木） 書面会議

参加者 協議会委員１２名

・協議・確認事項

- (１) 令和元年度事業報告及び決算報告について
- (２) 令和２年度事業計画（案）及び予算（案）について
- (３) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (４) 深川市立病院新改革プランの実施状況に関する点検・評価について
- (５) その他について

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面会議で開催され、協議・確認事項は運営会議・事務局提案どおり、委員全員よって承認されました。

3. 協議会構成員（令和2年4月～令和3年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	山 下 貴 史	
副会長	深川医師会会長	林 憲 雄 ↓ 松 本 三 樹	深川第一病院院長 ↓ 7月に交代 吉本病院院長
委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐 野 豊	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	谷 田 光 弘	
	深川市立病院長	藤 澤 真	
	深川地区消防組合消防長	野 弘 道	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	中 神 宏 司	※1 中神歯科医院院長

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和2年度～令和3年度）

《令和3年度事業計画》

1. 令和3年度事業計画

- ・協議会の定期開催は6月を予定し、その他必要に応じて開催することとします。

2. 協議会構成員（令和3年4月～令和4年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
会 長	深川市長	山 下 貴 史	
副会長	深川医師会会長	松 本 三 樹	吉本病院院長
委 員	妹背牛町長	田 中 一 典	
	秩父別町長	澁 谷 信 人	
	北竜町長	佐 野 豊	
	沼田町長	横 山 茂	
	深川保健所長	谷 田 光 弘	
	深川市立病院長	藤 澤 真	
	深川地区消防組合消防長	江 刺 寿 彦	
	社会福祉法人揺籃会理事長	永 倉 隆太郎	※1
	社会福祉法人北海道中央病院理事長	大 西 道 祥	※1
	北空知介護支援専門員連絡協議会会長	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和2年度～令和3年度）

北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議

○設置目的

協議会を円滑に運営するため、協議会の委員が所属する機関・団体の担当で構成する運営会議を設置する。

○協議内容

- (1) 協議会の検討課題と事業の調整
- (2) 救急医療体制の維持・確保
- (3) 在宅医療・介護連携の課題の抽出と対応策の検討
- (4) 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
- (5) 在宅医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (6) 地域リハビリテーション活動支援事業の企画立案と進行管理
- (7) 認知症対策事業の検討
- (8) 医療・福祉・介護人材の確保の検討
- (9) その他地域医療・介護連携推進事業の企画立案と進行管理
- (10) 各市町地域包括支援センターとの連携調整
- (11) 協議会関係団体・組織との連絡調整
- (12) 専門部会の連絡調整

《令和2年度事業報告》

1. 令和2年度事業計画

- ・令和元年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
- ① ICT活用情報共有ツールの導入
 - ・医療・介護情報共有支援部会の調査研究結果を踏まえ、導入に向けて運営会議の下にプロジェクトチームを設置し検討する。
- ② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
 - ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果（平成30年度）を踏まえ、急変時診療体制、夜間・休日診療体制および在宅での支援体制について検討する。
- ③ 医療・福祉・介護人材の確保
 - ・深刻化する医療・介護・福祉職員の人材確保について、現状を調査把握し対応策を検討する。

2. 関係会議等開催状況

○第1回正副座長・部会長等会議

令和2年4月20日（月）10:00～11:00 市立病院

出席者12名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等）

- ・人事異動及び専門部会等の再編により役員等が交代したため、今年度の事業を始動させるにあたり、令和元年度事業報告・令和2年度事業計画（案）等についての内容等を確認し、昨年度末までに調整できなかった専門部会の役員及び委員の選出について協議した。
 - ・また、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、当面8月まで集会形式の研修事業は実施を見合わせるなど、事業計画・スケジュールの見直しを協議した。
- なお、9月以降の集会形式の事業の実施については、7月下旬に正副座長・部会長等会議を開催し協議することとした。

○第1回運営会議 令和2年5月20日(水)～28日(木) 書面会議

出席者 運営会議委員14名、運営会議事務局員5名、専門部会長2名

・協議・確認事項

- (1) 北空知地域医療介護確保推進協議会の議案について
 - ・令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画(案)・予算(案)、事業報告説明資料
- (2) 休日・夜間救急医療体制確保事業の報告について
- (3) 北空知地域医療介護確保推進協議会第1回会議の開催について
- (4) 運営会議の重点協議事項について
- (5) 新型コロナウイルス感染予防対策について

※新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面会議で開催され、協議会に提出する議案は事務局提案どおり、委員全員よって承認され、協議会第1回会議についても書面会議で開催することになった。

○第1回ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム会議

令和2年6月4日(木) 15:00～16:30 深川市立病院

出席者8名(プロジェクトチームメンバー)

・協議・確認事項

- (1) これまでの経過と今後のスケジュールについて
- (2) プロジェクトチーム内の役割分担について

※昨年度までの協議経過を踏まえ、帝人ファーマ提供のバイタルリンクを導入することで、関係市町・市立病院で接続テストを行い、北海道地域医療介護総合確保基金の活用を視野に導入に必要な作業を進めることになった。

○第2回ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム会議

令和2年6月15日(月) 15:00～17:00 深川市立病院

出席者8名(プロジェクトチームメンバー、帝人ファーマ担当者(ゲスト))

・協議・確認事項

- (1) バイタルリンクの各市町・病院への接続テストについて
- (2) 各市町・病院での端末やネット環境整備の希望の取りまとめについて
- (3) 端末整備の基金活用方法の保健所への照会について
- (4) 帝人ファーマへの照会事項について
- (5) 基金活用に係る事業計画書(案)の作成について
- (6) 今後のスケジュールについて

※帝人ファーマの担当者をゲストに招き、接続テストの結果やシステムの利用方法などを協議するとともに、端末の整備を含めた導入経費について、基金の活用や国の新型コロナウイルス対策事業の活用方法などを協議した。

・基金申請の期限もあり、ツールの導入と補助制度の活用方法について、地域医療・介護担当課長等会議で協議、判断してもらうことになった。

○第1回地域医療・介護担当課長等会議

及び第3回ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム会議

令和2年7月2日(木) 15:00～16:00 深川市立病院

出席者13名(1市4町担当課長等、プロジェクトチームメンバー)

・協議・確認事項

- (1) これまでの経過と今後のスケジュールについて
- (2) 費用負担と財政措置、導入スケジュールについて
- (3) 新型コロナウイルスの感染対策の研修会の開催について

※協議の結果、導入経費は関係市町・市立病院で分担し、財源は基金を活用せず、各市町で国の新型コロナウイルス対策事業の活用などで確保してバイタルリンクを導入し、北空知地域でシステムを構築し運用することになった。後日、各市町で理事者と協議し合意された。

・深川市で企画している新型コロナウイルスの感染対策の研修会を、協議会関係機関・団体も広く参加できるよう協議会も共催し開催することを決定した。

○第2回正副座長・部会長等会議 令和2年7月29日（水）15：00～15：55 深川市健康福祉センター 出席者10名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等） ・ICT活用情報共有ツール導入プロジェクトチーム、人材確保に関するアンケート調査など事業の進捗状況を確認し、新型コロナウイルスの感染が収束しない中、9月以降の事業計画・スケジュールの見直しについて意見交換を行い、具体的な見直しは小部会で協議することになった。
○第4回ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム会議 令和2年8月5日（水）14：00～15：50 深川市立病院 出席者10名（プロジェクトチームメンバー、市立病院管理課、帝人ファーマ担当者（ゲスト）） ・協議・確認事項 （1）これまでの経過と今後のスケジュールについて （2）導入経費と月額使用料の請求について （3）トライアル利用について （4）管理者の利用登録について （5）各事業者への説明、研修会の開催について （6）利用のルールづくりについて ※バイタルリンクの導入と経費負担について、関係市町間で合意ができ、関係予算も9月議会に提案されることになったので、10月1日から運用を開始できるよう、説明会の開催、利用登録、利用ルールづくりなどを協議し、必要な準備を進めることになった。 ・会議終了後、端末を操作し、バイタルリンクのインストール方法や利用者、患者の登録方法などの操作方法の研修を行った。 ・今後の協議は、バイタルリンクにプロジェクトチームの会議室を設け行うこととした。
○第2回運営会議 令和2年10月1日（木）15：00～16：10 深川市立病院 出席者18名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長） ・協議・確認事項 （1）今年度事業の進捗状況と今後の進め方について ・各専門部会・小部会、運営会議、ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム （2）医療・福祉・介護人材の確保について ・福祉・介護人材確保対策実態調査 （3）新型コロナウイルス感染対策について ・北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議及びプロジェクトチームの設置 ※各専門部会小部会から今年度事業の進捗状況の報告と、今後も集合型事業の実施は中止または次年度へ延期することなどの事業計画の見直しについて報告を受け承認された。 ・また、ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチームの報告を受け、10月1日からのバイタルリンクの運用開始と、事業所の利用登録の促進、トライアル利用から各会議体の会議室利用など多様な方法で本格運用できるよう進めていくこととした。 ・9月に実施した福祉・介護人材確保対策実態調査の集計結果に対し分析・意見交換を行い、調査報告書として取りまとめ、今後の協議に資することとした。 ・今後の新型コロナウイルスの広域的な感染対策を協議するため、運営会議メンバーで「北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を設置し、具体的課題を検討するためのプロジェクトチームの設置を決めた。
○第1回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議 書面会議 令和2年10月21日（水）13：30～15：40 深川市健康福祉センター 参加者 運営会議メンバー ・書面会議により、関係市町で調整することになっていたプロジェクトチームメンバーの報告と、プロジェクトチームで協議する検討課題についての要望を聞いた。
○第1回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議 令和2年10月21日（水）13：30～15：40 深川市健康福祉センター 出席者8名（連絡会議座長、プロジェクトチームメンバー）

・協議・確認事項 (1) 新型コロナウイルス感染症対策研修会の内容について (2) 研修会参加者アンケートにおける北空知広域で取り組むべき対策等への意見について (3) プロジェクトチームで取り組む課題について (4) 具体的な取り組みについて ※具体的に取り組む検討課題として、衛生物品の備蓄調査と合わせて、高齢者施設等で利用できる新型コロナウイルス感染症対策のチェックリストを用いた感染症対策実施状況調査を行うことなどを協議した。
○第2回地域医療・介護担当課長等会議 令和2年11月10日（火）9：55～11：10 深川市健康福祉センター 出席者8名（1市4町担当課長等） ・協議・確認事項 (1) 令和3年度北空知地域医療・介護連携支援センター事業委託料（案）について (2) 令和3年度北空知地域リハビリテーション事業委託料（案）について (3) 福祉・介護人材確保対策実態調査の結果について（報告） (4) 北空知コロナ対策プロジェクトチーム会議の進捗状況について（報告） ※各市町の次年度予算に要求する協議会事業の委託料（案）を協議するとともに、福祉・介護人材確保対策実態調査報告書とプロジェクトチーム会議の進捗報告を受け、意見交換した。
○第2回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議 令和2年11月20日（金）15：00～16：35 深川市健康福祉センター 出席者7名（プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項 (1) 第1回会議の協議内容の確認について (2) 衛生物品備蓄調査について (3) その他協議事項について ※具体的な取り組む検討課題として、高齢者施設等で利用できる新型コロナウイルス感染症対策のチェックリスト、衛生物品備蓄調査などについて協議した。
○第5回ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム会議 令和2年11月24日（火）15：00～16：40 深川市健康福祉センター 出席者7名（プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項 (1) 登録状況について (2) 事業所などからの質問・意見等について (3) 運用利用規定について (4) 利用のルールづくりについて (5) 申請書等様式について (6) 私用端末の登録について (5) 運営会議への引継ぎ事項について ※職場に接続環境のない各会議体委員等の私用端末の利用や、北空知にもサービス提供している滝川市の事業所の利用を認めるなど、運用利用規定などの利用ルールを協議し、今後の利用登録と活用の促進を求める運営会議への引継ぎ事項を取りまとめ、プロジェクトチームの活動を終えた。
○第3回地域医療・介護担当課長等会議（Web） 令和2年12月7日（月）～9日（水）きたそらりんく利用会議 出席者15名（1市4町担当課長等、プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項 (1) 協議経過について (2) きたそらリンク利用に係る規定等について (3) 運営会議への引継ぎ事項について

※ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチームの報告を受け、運用利用規定等の一部を文言整理したほかは報告のとおり了承された。
○第3回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議 令和2年12月21日（月）15：00～16：50 深川市健康福祉センター 出席者7名（プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項 （1）新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査について （2）調査後の取り組みについて （3）その他協議事項について ※道通知の新型コロナウイルス感染症対策チェックリストを基に作成した、施設における感染防止策や衛生用品備蓄の状況、職員・利用者への対応などを調査内容とする「新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査」を実施することを決定した。
○第3回運営会議（兼 第2回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議）（Web） 令和2年12月18日（金）～24日（木） きたそらりんく利用会議 出席者22名（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長） ・協議・確認事項 （1）ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチームの事業報告について （2）北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチームの協議状況報告について ※各プロジェクトチームの報告は、提案どおり了承された。
○第3回正副座長・部会長等会議（Web） 令和2年12月21日（月）～23日（水） きたそらりんく利用会議 出席者10名（運営会議正副座長、専門部会正副部会長、運営会議事務局員等） ・協議・確認事項 （1）今年度事業のまとめと次年度の取組について ※今年度事業のまとめについては、事務局案の一部を修正、補足し、次年度事業の取組については、今年度ほとんどが中止・延期となったため、今年度と同様の事業を計画し、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ、その都度見直しする考え方で、各会議体で協議することになった。 今後のオンライン利用を考え、24日にZoomを利用したWeb会議のテストを行った。
○第4回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議 令和3年1月15日（金）15：00～17：00 深川市健康福祉センター 出席者7名（プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項 （1）新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査の結果報告について （2）今後の方向性について ※実施状況調査の結果を取りまとめ、調査対象事業所に報告するとともに、調査から抽出された課題について次年度も検討していくことで次回協議することになった。
○第5回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議 書面会議 令和3年2月19日（金） 出席者7名（プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項 （1）オンライン多職種合同研修会の新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査結果報告について （2）2月12日開催「新型コロナウイルス感染症対策（リモート）研修」の報告について （3）今後の方向性について ※書面会議により、（1）（2）の報告を承認し、（3）について意見等を交換し、第6回会議で協議することとした。
○第6回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム会議 令和3年3月23日（火）13：30～14：45 出席者7名（プロジェクトチームメンバー） ・協議・確認事項

(1) 今年度の取り組みのまとめ

(2) その他

※協議・確認事項はプロジェクトチーム会議の在り方を含めた活動のまとめと今後の方向性や、情報発信の方法について協議し、4月中に第7回の会議を行うこととした。

○第4回運営会議（兼 第3回北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議）（Web）

令和3年3月18日（木）～23日（火） きたそらりんく利用会議

3月23日（火）16:30～17:10 Zoom利用会議

出席者（運営会議委員、運営会議事務局員、専門部会長）

きたそらりんく利用会議：20名、Zoom利用会議：17名

・協議・確認事項

(1) 北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチームの協議報告について

(2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

※協議・確認事項は提案どおり了承され、事業計画については、コロナの感染状況を踏まえ、オンラインの活用など実施方法を見直し調整していくこととした。

○新型コロナウイルス感染症対策研修会「茨戸アカシアハイツから学ぶ」

令和2年8月3日（月）13:30～15:30

ラ・カンパーニュホテル深川

・主催：深川市、社会福祉法人揺籃会 共催：北空知地域医療介護確保推進協議会

・出席者73名（保健・医療・介護・福祉関係者）

・研修内容

(1) 講演「施設における新型コロナウイルス感染予防について～茨戸アカシアハイツから学ぶ～」

講師 社会福祉法人札幌恵友会 危機管理対策本部副本部長 渡邊 一史さん

(2) 質疑応答

※講師の渡邊さんから、茨戸アカシアハイツにおけるクラスター発生、終息までの実体験をもとに、実践的な感染拡大防止対策、感染発生時の対応について講演いただいた。

福祉施設でクラスターが発生したら、感染の制御は困難である。クラスターを起こさないことが重要であり、「平時の備え」と「初動対応」について、日ごろから話し合っておくことが必要との指摘があった。

・質疑では、茨戸アカシアでの衝撃的なクラスター発生体験を聞き、なかなか声もあがりませんでした。関係者への保育所、学校での差別や、心のケアの対応、職員の予防対策の徹底、その後の札幌市の施設への指導・対応などの質疑が交わされ、講師からは、この経験を教訓として広く伝えていきたいとのことがあった。

・講師の講演資料や参加者アンケートの結果はホームページに掲載し、深川市では研修会を撮影した視聴用DVDを作成し貸し出すなど、関係者へ広報するとともに、参加者や協議会各小部会の意見等を踏まえ、北空知での広域的な対策を検討するため、「北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を設置することにつながった。

○多職種連携情報共有システム導入説明・研修会

・下記のとおり、帝人ファーマから研修用の端末を持参、提供いただき、担当者からの導入説明とシステムの操作方法等についての研修を、各市町で9回開催し、合計100名の参加を得た。

会 場	日 時	場 所	参加者数
深川市①	9月18日（金） 15:00～16:20	深川市健康福祉センター 1階 リハビリルーム	11名
深川市②	9月18日（金） 18:30～19:50	深川市健康福祉センター 1階 リハビリルーム	8名

深川市③	9月24日(木) 15:30～16:45 ※地域ケア会議終了後	深川市健康福祉センター 1階 リハビリルーム	16名
深川市④	9月30日(水) 15:00～16:20	深川市役所 3階 大会議室	15名
深川市⑤	9月30日(水) 18:30～19:45	深川市健康福祉センター 1階 リハビリルーム	7名
妹背牛町	9月23日(水) 15:00～16:30	妹背牛町保健センター	8名
秩父別町	9月17日(木) 14:00～15:00	秩父別町役場 2階 講堂	11名
北竜町	11月11日(水) 17:45～19:00	北竜町役場 2階会議室	10名
沼田町	10月29日(木) 15:00～16:30	沼田町健康福祉総合センター	14名

3. 事業の進捗状況

① ICT活用情報共有ツールの導入

- ・医療・介護情報共有支援部会の調査研究結果を踏まえ、導入に向けて運営会議の下にプロジェクトチームを設置し検討する。
- ⇒ 帝人ファーマ提供の多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の導入を関係市町間の合意により決定し、名称を「きたそらりんく」とし、9月から導入説明・研修会を開催するなどの準備を取り進め、10月1日から運用を開始した。
- ⇒ 11月で解散したプロジェクトチームで協議された、システムの運用利用規定や様々な活用提案などを引き継ぎ、本格的運用を目指して、関係機関・団体の利用登録を促進し、患者・サービス利用者の多職種支援のほか会議室利用などシステムの多様な活用に取り組んだ。

② 切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進

- ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果（平成30年度）を踏まえ、急変時診療体制、夜間・休日診療体制および在宅での支援体制について検討する。
- ⇒ 予定していた検討課題については、具体的な検討に至らなかった。
- ⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大に対応するため、8月に新型コロナウイルス感染症対策研修会を開催し、参加者アンケートや各小部会の意見等を踏まえ、広域での対応を協議する場として、運営会議メンバーで構成する「北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議」を設置するとともに、具体的な検討課題はプロジェクトチームを設置し協議を行った。
- ⇒ 12月に北空知管内の介護・福祉施設と市立病院の28施設を対象に、「新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査」を実施した。集計結果については、プロジェクトチームの助言等を付し各施設に報告するとともに、2月24日に開催した第1回オンライン多職種合同研修会に報告し、「コロナ」をテーマに情報・意見交換を行った。

③ 医療・福祉・介護人材の確保

- ・深刻化する医療・介護・福祉職員の人材確保について、現状を調査把握し対応策を検討する。
- ⇒ 9月に介護保険サービス事業所及び障がい福祉サービス事業所等（96か所）の運営状況や職員の労働状況などについての実態と問題意識を把握するため、「福祉・介護人材確保対策実態調査」を実施し、集計結果を報告書として取りまとめた。
- ⇒ 実態調査からは、事業所として人材確保にいろいろ努力しているにもかかわらず、募集しても応募もないなど、大変苦慮している実態が示されており、対応策についても様々な意見等をいただいた。貴重な資料として今後の人材確保対策の協議に活用していく。

※ このほか、事業の進捗状況等については、事務局から随時メール等で報告を行った。

4. 運営会議構成員（令和2年4月～令和3年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市高齢者支援課長	伊 藤 美恵子	
副座長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
委 員	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	藁 口 亮	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 都	※1 ライフマップ深川
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	清水野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	竹 内 剛	
	北竜町住民課長	東海林 孝 行	
	沼田町保健福祉課長	黒 田 美 和	
	深川市健康福祉課長	米 澤 弘 美	

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和2年度～令和3年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞由美	副センター長
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛冶 眞由美	※1
	深川市高齢者支援課地域包括支援係主任	立 川 智 章	※1
	深川市健康福祉課課長補佐	村 田 真 紀	※1

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和2年度～令和4年度）

⇒ 市町行政部局3名は、令和元年度まで深川市2名と4町の持ち回り1名としてきたが、専門部会
の見直し再編に合わせ、座長の深川市で担うことになった。

《ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム構成員》

役職	所属団体・役職等	氏 名	備 考
座 長	深川市健康福祉課課長補佐	村 田 真 紀	
委 員	深川市高齢者支援課地域包括支援係主任	立 川 智 章	
	妹背牛町健康福祉課主査	南 美也子	
	秩父別町住民課住民福祉グループ主査	瀬 戸 優 貴	
	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	
	沼田町保健福祉課主幹	高 橋 直 幸	
	深川市立病院管理課主幹	宮 崎 雅 晴	
	北空知地域医療介護連携支援センター事務局長	三ッ井 隆 博	市立病院地域連携室

《北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議構成員》

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
委 員	深川市高齢者支援課長	伊 藤 美恵子	
	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	藁 口 亮	アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 都	ライフマップ深川
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	清水野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	竹 内 剛	
	北竜町住民課長	東海林 孝 行	
	沼田町保健福祉課長	黒 田 美 和	
	深川市健康福祉課長	米 澤 弘 美	

※第2回運営会議（10月1日開催）で設置を決定、設置期間は10月から当面の間とする。

また、クラスター発生時等に想定される課題についての研究と対策を進めるために、プロジェクトチームを設置する。

《北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム構成員》

役職	所属団体・役職等	氏 名	備 考
座 長	深川保健所健康推進課長	本 田 真 子	
委 員	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	
	沼田町特別養護老人ホーム旭寿園園長	荒 川 幸 太	
	妹背牛町介護老人保健施設りづれ事務次長	池 田 憲 史	
	深川市立病院医療安全管理室医療安全係長	齋 藤 昌 昭	
	深川市健康福祉課健康推進係長	関 根 美 樹	
	深川市高齢者支援課課長補佐	北 垣 千 絵	

※事務局は深川市が担当

《令和3年度事業計画》

1. 令和3年度事業計画

- ・令和元年度に取りまとめた「協議会事業の進捗・評価と今後の方針・施策案」に基づき、次の課題について重点的に協議することとする。
 - ①切れ目のない在宅医療と在宅介護の提供体制の構築推進
 - ・在宅医療・介護に関するアンケート調査結果（平成30年度）を踏まえ、急変時診療体制、夜間・休日診療体制および在宅での支援体制について検討する。
 - ②医療・福祉・介護人材の確保
 - ・昨年度実施した福祉・介護人材確保対策実態調査結果を踏まえ、深刻化する医療・介護・福祉職員の人材確保について、対応策を検討する。
 - ③新型コロナウイルス感染症への対応
 - ・北空知新型コロナウイルス感染対策連絡会議プロジェクトチームを中心に感染対策に関する情報共有と情報発信について検討するとともに、昨年度実施した新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査で抽出された課題について検討する。

2. 運営会議構成員（令和3年4月～令和4年3月）

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川市市民福祉部長（高齢者支援課長兼務）	伊 藤 美恵子	
副座長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
委 員	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆみ	※1 ふくしの窓口居宅
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	清水野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	竹 内 剛	
	北竜町住民課長	東海林 孝 行	
	沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀	
	深川市健康・子ども課長	米 澤 弘 美	

※1の団体の代表の委員は2年任期（令和2年度～令和3年度）

《事務局体制》

	所属団体・役職等	氏 名	備 考
北空知地域 医療介護連携 支援センター	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞由美	副センター長
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	事務局長
	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	事務局員
	深川市立病院地域連携室地域連携係主査	尾 中 康 晴	事務局員
市町行政部局	深川市高齢者支援課課長補佐	高 崎 宣 美	※1
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛冶 眞由美	※1
	深川市健康・子ども課課長補佐	川 中 蘭 子	※1

※1の事務局員は深川市（座長）から選出する（令和2年度～令和4年度）

《北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議構成員》

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
座 長	深川保健所次長	住 友 義 昭	
委 員	深川市市民福祉部長（高齢者支援課長兼務）	伊 藤 美恵子	
	深川医師会事務長	高 田 智 之	
	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	
	社会福祉法人揺籃会理事	遊 佐 英 樹	※1 清祥園
	社会福祉法人北海道中央病院理事	菅 野 美奈子	※1 アニスティ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会事務局長	高 橋 ゆみ	※1 ふくしの窓口居宅
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課長	山 崎 達 也	
	妹背牛町住民課長	清水野 勇	
	妹背牛町健康福祉課長	河 野 和 浩	
	秩父別町住民課長	竹 内 剛	
	北竜町住民課長	東海林 孝 行	
	沼田町保健福祉課長	小 玉 好 紀	
	深川市健康・子ども課長	米 澤 弘 美	

《北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム構成員》

役職	所属団体・役職等	氏 名	備 考
座 長	深川保健所健康推進課長	森 下 恵 子	
委 員	社会福祉法人揺籃会理事	造 田 裕 普	
	沼田町特別養護老人ホーム旭寿園園長	荒 川 幸 太	
	妹背牛町介護老人保健施設りづれ事務次長	池 田 憲 史	
	深川市立病院医療安全管理室医療安全係長	齋 藤 昌 昭	
	深川市健康・子ども課課長補佐	北 垣 千 絵	
	深川市高齢者支援課課長補佐	高 崎 宣 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛治 真由美	R3. 4～追加

3. 年間スケジュール

⇒新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見直し調整していく。

年月日	項 目	内 容
4月16日～ 23日	正副座長・部会長等 会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和3年度事業計画の協議・ 調整（事業の実施時期調整）
5月18日～ 25日	第1回運営会議	令和3年度協議会議案の協議 重点課題の協議ほか
6月18日～ 28日	第1回協議会	令和2年度事業報告・決算報告、 令和3年度事業計画（案）・予算（案）の協議ほか
月 日	第2回運営会議	重点課題の協議ほか
月 日	第3回運営会議	重点課題の協議ほか
月 日	第4回運営会議	重点課題の協議 令和3年度事業のまとめと令和4年度の取組の協議

※必要に応じて「正副座長・部会長等会議」を開催し事業の進捗等を調整する。

I 医療介護相談・在宅生活支援部会

○医療介護相談・在宅生活支援部会の担当

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①切れ目なく在宅医療と在宅介護を提供するための体制づくりの検討

○急変時診療体制の検討 ○夜間・休日診療体制の検討

○在宅での支援体制の検討 ○認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①「北空知地域医療介護連携支援センター」の設置と運営

②医療・介護関係者、地域包括支援センターからの医療・介護連携に関する相談の受付・対応
(地域住民からの相談も直接受け付け、地域包括支援センターと連携調整する。)

③退院の際の医療及び介護関係者との連携調整と相互の紹介、他圏域病院との連携調整

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

《令和2年度事業報告》

1. 令和2年度事業計画

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

②相談コーディネーター業務の充実

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

2. 関係会議等開催状況

○新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から7月までは、専門部会、小部会の開催を見合わせるようになった。また、8月以降も構成員の人数が多い専門部会の開催は取りやめ、小部会を中心に事業に取り組むこととした。

○第1回医療介護相談支援小部会 令和2年9月7日（月）18:00～19:35

市立病院 出席者12名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

(1) 今後の事業、検討課題の進め方について

(2) 多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の導入について（報告）

(3) 新型コロナウイルス感染症対策について（情報・意見交換）

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況が見通せないため、7月に続き、11月に開催を予定していた入退院支援研修会は開催を中止することにした。 ・今年度は、入退院支援調整ルールの普及状況の把握と見直し、連携エチケット集の作成を検討課題にし、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、バイタルリンクの活用も図り、協議することになった。
○正副小部会長・事務局会議（Web） 令和2年12月11日（金）16：30～17：30 Zoom利用会議 出席者 6名 ・協議・確認事項 （1）入退院支援・調整ルールの普及状況の把握・評価と見直しについて （2）今後の進め方について ※普及状況の把握・評価と見直しを行うため、実態調査を行うこととし、調査票の内容と実施方法等を協議した。実施要領・調査票（案）を整理後、年内に小部会に提案し「きたそらりんく」で協議することになった。
○第2回医療介護相談支援小部会（Web） 令和2年12月21日（月）～23日（水）きたそらりんく利用会議 出席者13名（小部会メンバー） ・協議・確認事項 （1）入退院支援に関わる実態調査の実施について （2）今後の進め方について ※入退院支援に関わる実態調査を1月に実施することで、調査依頼文、実施要領、調査票、調査対象事業所などを協議した。
○第3回医療介護相談支援小部会（Web） 令和3年2月9日（火）～15日（月）きたそらりんく利用会議 2月15日（月）18：00～19：20 Zoom利用会議 参加者（小部会メンバー）きたそらりんく利用会議：11名、Zoom利用会議：13名 ・協議・確認事項 （1）入退院支援に係る実態調査の結果について （2）今年度事業のまとめと次年度の取組について ※実態調査の結果は、第2回オンライン多職種合同研修会で話題提供として報告するとともに、実態調査で明らかになったルールの周知や実践の徹底を図る具体的な方策は次年度検討することとし、今年度中止した事業を次年度も同様に計画し、集合型事業が実施できない場合はオンラインを活用して行うこととした。
○第1回在宅生活支援小部会 令和2年9月3日（木）18：00～19：40 市立病院 出席者11名（小部会メンバー） ・協議・確認事項 （1）今後の事業、検討課題の進め方について （2）多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の導入について（報告） （3）新型コロナウイルス感染症対策について（情報・意見交換） ※新型コロナウイルス感染症の今後の状況が見通せないため、計画していた認知症対応事例の共有検討会は中止することにした。 ・ICT活用情報ツール導入（プロジェクトチーム解散）後のツール活用の普及促進は、在宅療養を支援する本小部会が担当するが、導入するバイタルリンクには様々な活用方法があるので、活用方法に関係する部会・小部会でも普及促進を担ってもらうこととする。 ・本小部会の検討課題として、お薬手帳の普及促進と、救急あんしんカードの普及促進（ICT活用検討）があることを確認し、今後の協議については、新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、バイタルリンクの活用も図り、取り進めることになった。
○正副小部会長・事務局会議（Web）

令和3年1月18日（月）16:30～17:15 Zoom利用会議

出席者 4名

・協議・確認事項

(1) 第2回小部会の協議・確認事項について

①今年度の検討課題（お薬手帳、救急あんしんカードの普及促進）について

②きたそらりんく（バイタルリンク）の運用状況について

③今年度事業のまとめと次年度の取組について

※第2回小部会の協議・確認事項を協議し、第2回小部会は「きたそらりんく」とZoom利用会議を併用して開催することで、2月に日程を調整することとした。

○第2回在宅生活支援小部会（Web）

令和3年2月15日（月）～17日（水） きたそらりんく利用会議

2月17日（水）18:00～19:20 Zoom利用会議

参加者（小部会メンバー） きたそらりんく利用会議：11名、Zoom利用会議：10名

・協議・確認事項

(1) 今年度の検討課題（お薬手帳、救急あんしんカードの普及促進）について

(2) きたそらりんく（バイタルリンク）の運用状況について

(3) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

※(1)の普及状況、(2)の利用状況を確認し、周知不足から具体的な普及、利用促進策を次年度検討していくとともに、今年度中止した事業を次年度も同様に計画し、集合型事業が実施できない場合はオンラインを活用し、状況に応じて検討課題を絞って取り進めることとした。

3. 事業の進捗状況

(1) 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催

⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、7月と11月にグループワーク方式で開催を計画していた研修会は中止した。

⇒ 10月に開催された北海道主催の「地域包括ケアシステム構築に向けた多職種合同研修」に協議会から代表2名（保健所含む）が参加するとともに、11月に公開された研修動画の視聴研修をメール及び「きたそらりんく」で案内した。

②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から計画していた事例共有検討会等の開催は中止した。

(2) 医療・介護関係者の情報共有の支援

①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

⇒ 10月1日から運用を開始した「きたそらりんく（バイタルリンク）」の利用登録の促進と、患者・サービス利用者に対する多職種支援、情報共有や会議など多様な利活用に取り組んだ。

⇒ 平成30年8月から実施している「北空知地域入退院支援・調整ルール」の試行事業について、2年経過していることから、普及状況等を把握する「北空知地域入退院支援に係る実態調査」を市立病院病棟看護職と北空知管内の介護支援専門員を対象に1月に実施した。

⇒ 実態調査からは、ルールがあまり知られていないことや、「5つのお願い」などの実践事項が徹底されていないことが分かり、周知・徹底の方策が今後の課題となった。一方で、平成29年時の調査と比較すると、医療と介護の連携が進んでおり、メリットを評価する意見等も多かった。また、実態調査結果については、3月4日に開催した第2回オンライン多職種合同研修会に報告し、「多職種支援」をテーマに情報・意見交換を行った。

⇒ また、連携エチケット集の作成について、横須賀市と新潟市を参考に、上記実態調査の意見等も踏まえ次年度に検討することにした。

⇒ ICT活用医療介護連携ツール導入プロジェクトチーム解散後の「きたそらりんく」の普及促進

は、在宅生活支援小部会を主担当にし、各種活用方法に係る小部会でも普及促進を担うこととした。

(3) 在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知

- ⇒ 市立病院地域連携室内に下記「令和2年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制」のとおり設置し運営にあたった。
- ⇒ ホームページ、きたそらりんく、パンフレットなどで周知するとともに、各市町の地域包括支援センター、各事業所等を通じて周知に努めた。

②相談コーディネート業務の充実

- ⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、入退院支援も様々な面で制約を受け、また、北空知地域入退院支援研修会が中止されるなど、北空知地域内外の各種研修会や会議の開催が困難となる中でも、関係者との連携を図り相談業務の充実に努めた。

③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）

- ⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、地域ケア会議も定期開催ができず、状況を見ながら開催された地域ケア会議（深川市（月2回）、妹背牛町（月1回）、秩父別町（月1回）、北竜町（月1回）、沼田町（不定期））に出席し、関係市町及び事業所等との連携構築に努めた。

④訪問看護等在宅サービスとの連携調整

- ⇒ 入退院支援業務や相談業務を通じて関係者との連携・調整に努めた。

⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

- ⇒ 関係市町への認知症サポート医及び看護職の派遣・調整を行った。
 - ・令和2年度の実施件数2件（深川市2件）、実施結果：1件～医療受診・介護サービス利用、1件～長期入院にて支援終了

実績なし（沼田、妹背牛、北竜、秩父別町）

（平成29年度実施件数5件（深川市4件、北竜町1件）、うち市立病院看護師派遣1件（北竜町）
平成30年度の実施件数4件（深川市4件）
令和元年度の実施件数2件（深川市）

4. 部会構成員（令和2年4月～令和3年3月）24名 ⇒ 23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	斉 藤 直 美	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	大 場 久 男	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課地域包括支援係	立 川 智 章	医療介護相談支援小部会
	深川市健康福祉課課長補佐	村 田 真 紀	在宅生活支援小部会
委 員	深川医師会副会長 →7月に会長就任し協議会副会長に就任	松 本 三 樹	吉本病院 院長 →7月部会委員退任
	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	田 村 禎 子	深川第一病院
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 ゆ み	ふくしの窓口居宅
	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋 本 和 樹	深川市社会福祉協議会
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	野 村 知 哉	
	深川保健所企画総務課主査	山 崎 由紀子	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	荒 井 恵	深川社協ホームヘルプ
	妹背牛町健康福祉課主査	南 美也子	
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅りふれ
	秩父別町住民課住民福祉グループ主幹	太 田 祥 予	
	北竜町住民課保健指導係長兼介護予防係長	田 中 望 美	

	北竜町住民課介護予防係（保健師）	内 田 奈保子	
	沼田町保健福祉課主査	山 下 広 大	
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	畠 山 美 幸	沼田町社会福祉協議会
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 眞由美	
	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	

※部会の設置期間（令和2年度～4年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

齊藤（小部会長）、立川（副小部会長）、中神、田村、荒井、高橋、山崎、南、内田、畠山、坂井、佐藤、三ッ井（13名）

【在宅生活支援小部会】

大場（小部会長）、村田（副小部会長）、松本（7月退任）、工藤、野村、橋本、山崎、太田、田中、山下、村澤、三ッ井（12名→11名）

令和2年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院副院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	村 澤 眞由美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
事務局長	深川市立病院地域連携室 地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会

《令和3年度事業計画》

1. 令和3年度事業計画

（1）切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築推進

- ①医療関係者と地域支援関係者との連携構築を図る北空知地域入退院支援研修会の開催
- ②認知症初期集中支援事業など認知症ケアの向上と認知症施策の検討

（2）医療・介護関係者の情報共有の支援

- ①医療・介護連携情報共有ツールの作成と普及促進

（3）在宅医療・介護連携に関する相談支援と連携調整

- ①北空知地域医療介護連携支援センターの運営と業務の周知
- ②相談コーディネート業務の充実

- ③相談コーディネーターの地域ケア会議への出席（関係者間の連携構築）
 ④訪問看護等在宅サービスとの連携調整
 ⑤認知症初期集中支援事業の連携調整

※昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、専門部会の事業は中止や延期を余儀なくされ、会議も思うように開催することができなかったため、昨年度と同様の事業を計画する。
 ・ただし、今年度も新型コロナウイルス感染症の状況により実施が難しい場合は、その都度見直していくこととし、見直しにあたっては、オンライン活用など別な方法を検討し取り組むこととする。

2. 部会構成員（令和3年4月～令和4年3月）23名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	秩父別町住民課主幹・地域包括支援センター長	斉 藤 直 美	医療介護相談支援小部会長
副部会長	深川保健所企画総務課企画主幹	大 場 久 男	在宅生活支援小部会長
副小部会長	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛治 真由美	医療介護相談支援小部会
	深川市健康・子ども課課長補佐	川 中 蘭 子	在宅生活支援小部会
委 員	北空知歯科医会副会長	中 神 宏 司	中神歯科医院 院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	工 藤 博 之	なの花薬局
	北空知地域看護連携推進会議	田 村 禎 子	深川第一病院
	北空知介護支援専門員連絡協議会	高 橋 都	ライフマップ深川
	北空知介護支援専門員連絡協議会	橋 本 和 樹	深川市社会福祉協議会
	深川地区消防組合深川消防署指令救急課救急救助係長	野 村 知 哉	
	深川保健所企画総務課主査	山 崎 由紀子	
	北空知区域内介護事業所（深川市）	荒 井 恵	深川社協ホームヘルプ
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	
	北空知区域内介護事業所（妹背牛町）	山 崎 雄 大	居宅りふれ
	秩父別町住民課主幹・介護相談係長	太 田 祥 予	
	北竜町住民課保健指導係長	田 中 望 美	
	北竜町住民課介護予防係主査	大 井 敬 太	
	沼田町保健福祉課主査	山 下 広 大	
	北空知区域内介護事業所（沼田町）	畠 山 美 幸	沼田町社会福祉協議会
事務局員	深川市立病院地域連携室室長	村 澤 真由美	
	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江	
	深川市立病院地域連携室地域連携係主任	佐 藤 恵 里	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和2年度～4年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【医療介護相談支援小部会】

斉藤（小部会長）、小鍛治（副小部会長）、中神、田村、荒井、高橋、山崎、野本、大井、畠山、坂井、佐藤、村田
 （13名）

【在宅生活支援小部会】

大場（小部会長）、川中（副小部会長）、工藤、野村、橋本、山崎、太田、田中、山下、村澤、村田
 （11名）

令和3年度 北空知地域医療介護連携支援センター体制

役 職	所属団体・役職	氏 名	担 当
センター長	深川市立病院副院長	新 居 利 英	センター業務統括
センター長代理	深川市立病院事務部長	吉 田 博 昭	センター長の職務代理
副センター長	深川市立病院地域連携室長	村 澤 眞由美	運営会議 医療介護相談・在宅生活支援部会
事務局長	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	運営会議及び専門部会の運営調整、 地域リハビリテーション活動支援事業等の進行調整
事務局次長	深川市立病院地域連携室副室長	坂 井 良 江	医療介護相談・在宅生活支援部会
	深川市立病院地域連携室副室長	赤 松 充 敏	多職種連携・地域啓発部会 地域リハビリテーション活動支援事業
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携係長	藤 原 智 美	多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主査	尾 中 康 晴	運営会議 多職種連携・地域啓発部会
	深川市立病院地域連携室 地域連携係主任	佐 藤 恵 里	医療介護相談・在宅生活支援部会

3. 年間スケジュール

⇒新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見直し調整する。

年月日	項 目	内 容
4月16日～ 23日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和3年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月18日～ 25日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月18日～ 28日	第1回協議会議	部会の議案説明（書面）

（医療介護相談・在宅生活支援部会）

年月日	項 目	内 容
6月4日～ 8日	第1回部会	令和3年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2月 日	第2回部会	令和3年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（医療介護相談支援小部会）

年月日	項 目	内 容
6月4日～ 8日	第1回小部会	入退院支援研修会の企画ほか 第1回入退院支援研修会の開催協議
月 日	第2回小部会	第1回入退院支援研修会の開催準備協議 （提供事例、開催要項・開催案内ほか）
7月 日	第3回小部会	第1回入退院支援研修会の直前運営協議 （ファシリ選任、グループ分け、進行ほか）
7月 日	第1回入退院支援研修会	
8月 日	第4回小部会	第1回研修会の振り返り・評価 第2回入退院支援研修会の開催協議

9月 日	第5回小部会	第2回入退院支援研修会の開催準備協議 (提供事例、開催要項・開催案内ほか)
11月 日	第6回小部会	第2回入退院支援研修会の直前運営協議 (ファシリ選任、グループ分け、進行ほか)
11月 日	第2回入退院支援研修会	
12月 日	第7回小部会	第2回研修会の振り返り・評価 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

(在宅生活支援小部会)

年月日	項 目	内 容
6月4日～ 8日	第1回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第1回事例共有検討会等の開催準備ほか
月 日	第2回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第1回事例共有検討会等の開催準備ほか
8月 日	第1回認知症対応事例の共有 検討会等の開催	第1回は認知症以外のテーマで行うことも考えられ る
9月 日	第3回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第2回事例共有検討会等の開催準備
11月 日	第4回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の協議 第2回事例共有検討会等の開催準備
12～1月 日	第2回認知症対応事例の共有 検討会等の開催	
1月まで終了	第5回小部会	認知症施策ほか在宅生活支援施策の取りまとめ 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

Ⅱ 多職種連携・地域啓発部会

○多職種連携・地域啓発部会の担当

(1) 地域の医療・介護の資源の把握と情報提供

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報収集と整理
- ②地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドの作成とホームページ等での公開
- ③医療・介護関係者との情報の共有と活用、地域住民に対する情報提供

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の開催
 - ・関係団体の研修事業等との連携と活用による研修会の企画立案
 - ・各市町地域ケア会議等の活用による研修会の検討と実施
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

《令和2年度事業報告》

1. 令和2年度事業計画

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
 - ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

(3) 地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

2. 関係会議等開催状況

○新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から7月までは、専門部会、小部会の開催を見合わせるようになった。また、8月以降も構成員の人数が多い専門部会の開催は取りやめ、小部会を中心に事業に取り組むこととした。

○第1回多職種連携研修小部会 令和2年8月24日（月）18:00～19:10

市立病院 出席者12名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）今後の事業、検討課題の進め方について
- （2）多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の導入について（報告）
- （3）新型コロナウイルス感染症対策について（情報・意見交換）

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況が見通せないため、6月に続き、9月、12月に計画していた集合型のケア・カフェ形式の研修は中止することにし、オンラインでの研修ができないか、小部会でWeb会議を行い検討することになった。

○正副小部会長・事務局会議

令和3年1月22日（金）16:30～17:00 Zoom利用会議

出席者 3名

・協議・確認事項

- （1）第2回小部会の協議・確認事項について
- ①今年度の検討課題（オンライン研修会のトライアル）について
- ②今年度事業のまとめと次年度の取組について

※第2回小部会の協議・確認事項を協議し、第2回小部会は「きたそらりんく」とZoom利用会議を併用して開催することで、2月第1週に日程を調整することとした。

○第2回多職種連携研修小部会

令和3年2月1日（月）～5日（金）きたそらりんく利用会議

2月5日（金）18:00～19:15 Zoom利用会議

出席者（小部会メンバー）きたそらりんく利用会議：14名、Zoom利用会議：13名

・協議・確認事項

- （1）オンライン研修会のトライアルについて
- （2）今年度事業のまとめと次年度の取組について

※協議・確認事項を協議し、今年度中止した事業を次年度も同様に計画にあげるとともに、新型コロナウイルスの流行が収束せず、集合型事業が実施できない場合の手段として、オンライン活用を検討するため、年度内にオンライン多職種合同研修会を2回トライアル開催することになった。

○第1回情報共有・地域啓発小部会 令和2年8月25日（火）18:00～19:10

市立病院 出席者10名（小部会メンバー）

・協議・確認事項

- （1）今後の事業、検討課題の進め方について
- （2）多職種連携情報共有システム「バイタルリンク」の導入について（報告）
- （3）新型コロナウイルス感染症対策について（情報・意見交換）

※新型コロナウイルス感染症の今後の状況が見通せないため、10月に秩父別町で開催を計画していた北空知地域住民フォーラムは次年度に延期することにした。

・今年度の検討課題として、昨年度協議していた、地域住民向け講演会・研修会のメニューづくり、講師づくりについて、一定の成果を取りまとめることになり、協議は新型コロナウイルスの感染状況も踏まえながら、関係市町選出の委員を中心に進めることとし、一定のまとめができた段階で、小部会を開催することとした。

○正副小部会長・事務局会議

令和3年1月27日（水）16:30～17:20 Zoom利用会議

出席者 5名

・協議・確認事項

(1) 第2回小部会の協議・確認事項について

①今年度の検討課題（地域住民向け講演会・研修会のメニューづくり）について

②今年度事業のまとめと次年度の取組について

※

※第2回小部会の協議・確認事項を協議し、第2回小部会は「きたそらりんく」とZ o o m利用会議を併用して開催することで、2月第2週に開催することとした。

○第2回情報共有・地域啓発小部会

令和3年2月8日（月）～10日（水） きたそらりんく利用会議

2月10日（水）18:00～19:20 Z o o m利用会議

参加者（小部会メンバー） きたそらりんく利用会議：8名、Z o o m利用会議：10名

・協議・確認事項

(1) 地域住民向け講演会・研修会のメニューづくりについて

(2) 今年度事業のまとめと次年度の取組について

※協議・確認事項を協議し、(1)は次年度の課題として継続協議することとし、住民フォーラムについては次年度の開催も難しいと判断し再度延期することとし、パンフレットの作成や小規模な集会への講師派遣など他の方策による啓発事業の実施を検討することとした。

○第1回オンライン多職種合同研修会「コロナ」 Z o o m利用

令和3年2月24日（水）18:00～19:25

参加者37名（協議会各会議体メンバー）

(1) 話題提供「新型コロナウイルス感染症対策実施状況調査の結果から」

・話題提供者 北 垣 千 絵さん（深川市高齢者支援課）

（北空知新型コロナウイルス感染症対策連絡会議プロジェクトチーム事務局）

(2) グループワーク（情報・意見交換・全体共有）

・テーマ「コロナ」

※「コロナ」をテーマにし、ケア・カフェ方式の研修プログラムをオンラインでトライアル実施した。慣れない中での話題提供、グループワークであったが、時間制限内に進めることができた。

・参加者からは「馴染めない」「操作が難しい」などの感想もあったが、「便利である」「慣れてくれば良くなるのではないか」「進行に工夫が必要」「次年度利用可能」など、次年度の活用に向けた意見等が大半であった。

○第2回オンライン多職種合同研修会「多職種支援」 Z o o m利用

令和3年3月4日（木）18:00～19:25

参加者35名（協議会各会議体メンバー）

(1) 話題提供①「北空知入退院支援に係る実態調査の結果から」

・話題提供者 山 崎 由紀子さん（深川保健所、医療介護相談支援小部会委員）

(2) 話題提供②「きたそらりんくを活用した多職種支援の事例」

・話題提供者 立 川 智 章さん（深川市地域包括支援センター、医療介護相談支援小部会副小部会長）

(3) グループワーク（情報・意見交換・全体共有）

・テーマ「多職種支援」

※第2回は「多職種支援」をテーマに開催したが、オンライン研修に少し慣れてきたとの感想があがっていた。

・入退院支援・調整ルールと「きたそらりんく」は、まだまだ知らない人が少なくないので、今後も事例紹介などの勉強会を開催し、普及促進を図ってほしいとの意見が出されていました。

○第1回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和2年8月31日（月）18:00～20:15 市立病院
出席者7名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）新規の地域リハビリ担当者と各事業項目別4月～8月の実施件数について
- （2）保健師・居宅介護支援専門員へのアンケート調査について
- （3）新規リハビリスタッフの介護予防講話に関するスキルアップについて
- （4）派遣スタッフの追加について
- （5）リハビリスタッフ派遣に関する課題・要望について
- （6）ICT活用した地域リハビリテーション管理と事業報告書の送信について

※上記協議事項にそって、今年度事業の中間評価と後半に向けての取り組みについて協議した。

- ・深川市でコロナ対応の予算を活用し、ライスパワー体操DVDのリニューアルを行ったので、コロナで閉じこもりがちな高齢者に対し介護予防事業に活用していく。
- ・地域リハのスケジュール管理を現在使用している「りざぶ郎」から「バイタルリンク」に変えることとし、1月分の予約から使用する。事業報告は9月からトライアル使用していく。
- ・個別訪問、通所訪問事業の検証と今後の普及啓発を目的に、9月に保健師・居宅介護支援専門員を対象にアンケート調査を実施する。

○第2回地域リハビリテーション活動支援事業調整会議

令和3年3月1日（月）18:00～19:50 市立病院
出席者7名（市町地域包括支援センター担当者、事務局員）

・協議・確認事項

- （1）アンケート調査の結果について
- （2）今年度事業のまとめと次年度の取組について

※今年度の実施状況を確認し、アンケート調査結果も踏まえ、次年度の取組について協議した。特にコロナの影響で実施、介入が難しくなった事業の対策として、オンラインの活用や「きたそらりんく」での情報共有など取組の工夫を図り、地域リハ活動支援の維持・向上に努めることとした。

○介護保険サービス事業所スタッフ向け研修会の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	0	
妹背牛町	0	
秩父別町	0	
北竜町	2	北竜町社会福祉協議会通所サービス事業所、特別養護老人ホーム永楽園
沼田町	0	
合計	2	

○住民向け講演会・研修会等の開催

市町名	開催回数	主な事業所
深川市	24	3丁目ふれあいサロン、文光町いこいこサロン、ヘルシー会、ライスパワー体操体験会、健寿OB会、深まるサポート（介護予防サポーター養成講座）、ライパー会（旭区）、鷹泊シルバークラブ、ライスパワー体操サポーター養成講座、
妹背牛町	5	介護予防シリーズ、妹背牛町生活支援ハウスすまい・ル、生きがい講座
秩父別町	7	脳活介護予防事業
北竜町	1	コスモスクラブ
沼田町	10	のぞみ会サロン、旭町サロン、緑町サロン、高齢者元気100倍教室
合計	47	

3. 事業の進捗状況

(1) 地域の医療・介護の資源の把握

①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実

⇒ 7月にホームページ掲載事業所（新規開設事業所含む）へ医療・介護情報の更新依頼を行い、提出調書を情報ガイドに整理して、3月に更新情報をホームページに掲載した。

【医療・介護資源情報ガイドのホームページ掲載状況】

- ・2021年3月2日 北空知医療・介護の情報ガイドの更新
- ・2019年10月1日 北空知地域の社会資源・インフォーマルサービスガイド
- ・2019年3月20日 北空知病院ガイド、診療所ガイド、歯科診療所ガイド、薬局ガイド
- ・2018年9月4日 北空知地域入退院支援・調整ルール
- ・2018年7月3日 北空知介護保険サービス事業所ガイドに地図情報を追加
- ・2018年6月5日 北空知介護保険サービス事業所ガイド

⇒ 医療・介護の情報ガイドの更新のほか、各種事業の報告の掲載など、ホームページの更新を13回行った。

②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討

⇒ 各会議体委員等にホームページの更新を随時知らせたほか、10月1日から運用開始した「きたそらりんく（バイタルリンク）」にも掲載し、医療・介護関係者へ情報提供したが、地域住民への提供については具体的検討には至らなかった。

③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

⇒ 関係機関・団体にホームページとのリンクを依頼しているほか、具体的検討には至らなかった。

(2) 医療・介護関係者の研修会の実施

①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施

・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営

⇒ 6月、9月、12月にケア・カフェ方式の研修会の開催を計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から中止したが、次年度に向けてオンライン活用を検討するため、2月24日と3月4日にオンライン研修会を2回トライアル実施した。

・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討

⇒ 8月3日に、参加人数を限定し、講演会方式で「新型コロナウイルス感染症対策研修会」を深川市、社会福祉法人揺籃会と共催して開催した。

⇒ 関係機関・団体からの情報提供により、新型コロナウイルスの感染拡大防止に対応したオンライン研修やビデオ視聴研修などの研修情報を適宜、本協議会の各会議体委員等へメールや「きたそらりんく」等で案内した。

・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討

⇒ 新型コロナウイルス感染症の流行のため研修事業は中止、延期となり、検討に至らなかった。

⇒ 地域リハビリテーション活動支援事業を通じ、関係市町の介護予防事業や介護保険サービス事業所の職員研修に作業療法士を派遣した。

②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進

・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整

⇒ 新型コロナウイルスの感染拡大防止の中、活動が制約されたが、市立病院の複数の作業療法士で市町担当を決め、派遣調整を行った。

⇒ 新型コロナウイルスの感染で閉じこもりがちな高齢者に向けて、深川市立病院で考案した介護予防体操「ライスパワー体操」の紹介・普及を図るため、深川市と共同し、DVDをリニューアルするとともに、市民指導者を育成するための「ライスパワー体操サポーター養成講座」を開催し、市民の自主的な介護予防活動の促進に努めた。

さらに、DVDは高齢者が操作しやすいように、基本編、短縮編、上級編の3枚に分け、「短縮編・基本編」と「基本編・上級編」の2種類、2枚1組にしたセット版も作成した

⇒ 北海道の「地域リハビリテーション指導者養成研修」に、市立病院のリハビリテーション専門職が参加し、地域ケア会議や介護予防事業に資するアドバイザーとしての指導力向上と、本事業担

当者の育成に努めた。

・事業者向け研修会等の実施による普及推進

⇒ 北竜町の介護事業所でスタッフ研修を実施した。

・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

⇒ これまでの事業の成果と課題等を共有するため、関係市町の地域ケア会議や事業所の研修などで報告し事業の一層の普及推進に努めた。

⇒ 9月に保健師・居宅介護支援専門員を対象にアンケート調査を実施し、個別訪問、通所訪問事業の検証と今後の普及啓発について課題等を取りまとめた。

(3) 地域住民への普及啓発

①在宅医療や介護などについての講演会等の開催

・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催

⇒ 10月に秩父別町で開催を計画していた北空知地域住民フォーラムは、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から次年度へ延期することとしたが、次年度も感染予防対策上開催は難しいと判断し、さらに延期し、令和4年度に秩父別町、令和5年度に沼田町での開催を目指すこととした。

・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施

⇒ 情報共有・地域啓発小部会の市町選出委員で「地域住民向け講演会・研修会のメニュー」案を検討する予定であったが、新型コロナウイルス感染症の対応などで検討することができず、次年度の課題として継続協議する。

⇒ 地域リハビリテーション活動の出前講座は、上記「住民向け講演会・研修会等の開催」のとおり、47カ所を実施した。

②在宅医療や介護に関する住民広報の実施

・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施

⇒ 介護予防の住民啓発資料として、介護予防体操「ライスパワー体操」の一部を紹介するパンフレットを立位編、座位編、各2,000部を作成し、関係市町及び市立病院に配分した。

・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

⇒ 具体的な検討には至らなかった。(12月現在)

4. 部会構成員（令和2年4月～令和3年3月）24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	沼田町保健福祉課主幹	森 田 秀 幸	多職種連携研修小部会長
副小部会長	北空知介護支援専門員連絡協議会（幸鐘会）	桑 原 薫	多職種連携研修小部会
	妹背牛町健康福祉課主査	野 本 里 恵	情報共有・地域啓発小部会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会副議長	児 島 俊 一	児島医院 院長
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	岡 安 良 子	北海道ファーマライズ深川薬局
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	杉 谷 由 香	北海道中央病院
	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	エーデルワイス
	深川保健所企画総務課主査	山 崎 由紀子	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係長	小鍛冶 真由美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係（保健師）	村 上 詩 歩	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	小 原 誠 司	和敬園居宅
	秩父別町住民課保健指導グループ主査	池 田 有里恵	

	北空知区域内介護事業所（北竜町）	村 井 恵	北竜町社会福祉協議会
	沼田町地域包括支援センター（介護支援専門員）	礪 宏 一	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携係係長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携室	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室地域連携係調査員	三ッ井 隆 博	

※部会の設置期間（令和２年度～４年度）

部会の設置は３年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

森田（小部会長）、桑原（副小部会長）、大谷内、中澤、杉谷、岡本、山崎、村上、末岡、小原、村井、藤原、三ッ井（１３人）

運営協力員：疋田健（東ヶ丘病院看護師）、坂本一樹（市立病院看護師）、永洞政幸（市立病院作業療法士）（１６名）

【情報共有・地域啓発小部会】

神薙（小部会長）、野本（副小部会長）、児島、伊東、岡安、北本、池田、礪、小鍛冶、赤松、尾中、三ッ井（１２名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

三ッ井（座長）、赤松（事業担当）、鎌塚（深川市）、南（妹背牛町）、太田（秩父別町）、田中（北竜町）、礪（沼田町）（７名）

《令和３年度事業計画》

1. 令和３年度事業計画

（１）地域の医療・介護の資源の把握

- ①地域の医療・介護・地域資源の情報ガイドのホームページでの更新・充実
- ②把握した資源情報を医療・介護関係者や地域住民に提供する方法の検討
- ③関係市町や関係団体等の広報誌・ホームページ等と連携した情報提供の検討

（２）医療・介護関係者の研修会の実施

- ①医療・介護関係者を対象とした多職種研修会の実施
 - ・多職種合同研修会の複数回開催の企画と運営
 - ・地域内の研修事業の把握による参加案内の周知や共同開催等の検討
 - ・協議会構成団体相互の専門職等の派遣協力による研修事業の検討
- ②地域リハビリテーション活動支援事業の普及推進
 - ・各市町の事業調査とリハビリテーション専門職の派遣調整
 - ・事業者向け研修会等の実施による普及推進
 - ・各市町地域ケア会議での成果と課題の共有、対応等の検討

（３）地域住民への普及啓発

- ①在宅医療や介護などについての講演会等の開催
 - ・在宅医療・介護に関する住民フォーラムの開催
 - ・専門職等の派遣による住民向け講演会・研修会等の実施
- ②在宅医療や介護に関する住民広報の実施
 - ・関係市町・事業所等との連携による住民広報の検討と実施
 - ・在宅医療・介護に関して高齢者虐待など必要な課題を取り上げた普及啓発の検討と実施

- ※昨年度は、新型コロナウイルス感染症の流行により、専門部会の事業は中止や延期を余儀なくされ、会議も思うように開催することができなかったため、昨年度と同様の事業を計画する。
- ・ただし、今年度も新型コロナウイルス感染症の状況により実施が難しい場合は、その都度見直していくこととし、見直しにあたっては、オンライン活用など別な方法を検討し取り組むこととする。

2. 部会構成員（令和3年4月～令和4年3月）24名

役 職	所属団体・役職	氏 名	備 考
部 会 長	北竜町住民課課長補佐・地域包括支援センター長	神 薮 早 智	情報共有・地域啓発小部会長
副部会長	沼田町保健福祉課主幹	森 田 秀 幸	多職種連携研修小部会長
副小部会長	北空知介護支援専門員連絡協議会（幸鐘会）	桑 原 薫	多職種連携研修小部会
	妹背牛町健康福祉課主幹	南 美也子	情報共有・地域啓発小部会
委 員	深川医師会理事	大谷内 真 弓	深川市立病院診療部
	深川医師会副議長	児 島 俊 一	児島医院 院長
	北空知歯科医会会長	伊 東 由紀夫	伊東歯科医院院長
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	岡 安 良 子	北海道ファーマライズ深川薬局
	北海道薬剤師会北空知支部深川部会	中 澤 肇 子	深川市立病院薬剤課
	北空知地域看護連携推進会議	杉 谷 由 香	北海道中央病院
	北空知栄養士会会長	岡 本 恵	エーデルワイス
	深川保健所企画総務課主査	山 崎 由紀子	
	深川市介護者と共に歩む会会長	北 本 清 美	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係（保健師）	村 上 詩 歩	
	深川市高齢者支援課地域包括支援係（社会福祉士）	長谷川 沙 希	
	妹背牛町健康福祉課主査	末 岡 崇	
	北空知区域内介護事業所（秩父別町）	小 原 誠 司	和敬園居宅
	秩父別町住民課健康推進係長	池 田 有里恵	
	北空知区域内介護事業所（北竜町）	村 井 恵	北竜町社会福祉協議会
	沼田町地域包括支援センター（介護支援専門員）	礪 宏 一	
事務局員	深川市立病院地域連携室地域連携室副室長	赤 松 充 敏	
	深川市立病院地域連携室地域連携係係長	藤 原 智 美	
	深川市立病院地域連携室地域連携室主査	尾 中 康 晴	
	深川市立病院地域連携室主幹	村 田 真 紀	

※部会の設置期間（令和2年度～4年度）

部会の設置は3年ごとに見直し、部会長等の役員、構成員も再編する。

【多職種連携研修小部会】

森田（小部会長）、桑原（副小部会長）、大谷内、中澤、杉谷、岡本、山崎、長谷川、末岡、小原、村井、藤原、村田（13人）

運営協力員：疋田健（東ヶ丘病院看護師）、坂本一樹（市立病院看護師）、永洞政幸（市立病院作業療法士）（16名）

【情報共有・地域啓発小部会】

神薮（小部会長）、南（副小部会長）、児島、伊東、岡安、北本、池田、礪、村上、赤松、尾中、村田（12名）

【地域リハビリテーション活動支援事業調整会議】

村田（座長）、赤松（事業担当）、宮田（深川市）、末岡（妹背牛町）、太田（秩父別町）、内田（北竜町）、礪（沼田町）（7名）

3. 年間スケジュール

⇒新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ見直し調整していく。

年月日	項 目	内 容
4月16日～ 23日	正副座長・部会長等会議	役員交代に伴う引き継ぎ及び令和3年度事業計画の協議・調整（事業の実施時期調整）
5月18日～ 25日	第1回運営会議	部会長→部会の議案説明
6月18日～ 28日	第1回協議会議	部会の議案説明（書面）

（多職種連携・地域啓発部会）

年月日	項 目	内 容
6月8日～ 10日	第1回部会	令和3年度事業計画及び運営体制（小部会）の協議
2月 日	第2回部会	令和3年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（多職種連携研修小部会）

年月日	項 目	内 容
6月8日～ 10日	第1回小部会	多職種合同研修会の企画ほか
月 日	第2回小部会	第1回多職種合同研修会の開催準備協議
月 日	第1回多職種合同研修会	テーマ「お薬の話」
7月 日	第3回小部会	第1回多職種合同研修会の振り返り・評価 第2回多職種合同研修会の開催準備協議
9月 日	第2回多職種合同研修会・交流会	テーマ「認知症」
10月 日	第4回小部会	第2回多職種合同研修会の振り返り・評価 第3回多職種合同研修会の開催準備協議
12月 日	第3回多職種合同研修会	テーマ「未定」
12月 日	第5回小部会	第3回多職種合同研修会の振り返り・評価 今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

（情報共有・地域啓発小部会）

年月日	項 目	内 容
6月8日～ 10日	第1回小部会	救急あんしんカード・お薬手帳の普及促進、 住民向け講演会・研修会のメニューづくりほか 住民啓発事業の協議、
7月 日	第2回小部会	〃
9月 日	第3回小部会	〃
11月 日	第4回小部会	〃
1月まで終了	第5回小部会	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

※北空知地域住民フォーラムは、次年度も再度延期し、令和4年度に秩父別町、令和5年度に沼田町で開催することとする。

（地域リハビリテーション活動支援事業調整会議）

年月日	項 目	内 容
8月 日	第1回調整会議	今年度事業の中間評価と後半に向けての協議
2月 日	第2回調整会議	今年度事業のまとめと次年度の取組の協議

令和２年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 決算（案）

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	11,097,900	11,097,900	0	各市町負担金 深川市 4,902,248円 妹背牛町 1,637,919円 秩父別町 1,512,759円 北竜町 1,407,345円 沼田町 1,637,629円 計 11,097,900円
合 計	11,097,900	11,097,900	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,372,000	8,372,000	0	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,611,000円（市立病院正規看護職員平均給与費）×1.1≒8,372,000円
連絡車両維持費	176,000	145,200	△ 30,800	年間車両レンタル料 435,600円／台×1/3(車両利用割合)=145,200円（9月分から減額）
事業費	600,000	521,328	△ 78,672	北空知地域医療介護確保推進協議会 運営会議、プロジェクトチーム 医療介護相談・在宅生活支援部会 多職種連携・地域啓発部会 オンライン多職種合同研修会開催経費 14,460円 新型コロナウイルス感染症対策研修会開催経費 58,918円 きたそらりんく導入運営経費 193,600円 人材確保・入退院支援調査経費 109,896円 ホームページ更新・管理経費 110,285円 住民啓発パンフ作成費 27,999円 研修旅費及び受講料等 6,170円
事務費	460,000	476,697	16,697	事務費計 476,697円 消耗品・消耗備品 65,819円 介護新聞購読料 16,200円 郵送料 10,130円 連絡車両燃料費・保険料 40,063円 コピー機賃借及び使用料 342,708円 ※事務室及びパソコン等備品等使用料は含んでいません。
一般管理費	481,000	573,775	92,775	（人件費＋連絡車両維持費＋事業費＋事務費）9,515,225円×10%=951,522円 >573,775円【6.03%】 当初予算5%（参考：総務省が示す一般管理費上限額は10%）
消費税	1,008,900	1,008,900	0	消費税（10%） 10,089,000円×10%=1,008,900円
合 計	11,097,900	11,097,900	0	

令和２年度 地域リハビリテーション活動支援事業 決算（案）

収入

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,616,200	9,616,200	0	各市町負担金 深川市 5,476,618円 妹背牛町 1,152,790円 秩父別町 987,007円 北竜町 847,380円 沼田町 1,152,405円 計 9,616,200円
合 計	9,616,200	9,616,200	0	

支出

項目	予算額	決算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,553,000	7,553,000	0	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費（令和2年度から複数で担当） 8,392,000円（作業療法士給与費実費額）×0.9区≒7,553,000円
連絡車両維持費	422,000	421,080	△ 920	年間車両レンタル料 421,080円（イグニス）
事務費	350,000	330,145	△ 19,855	事務費計 330,145円 消耗品・消耗備品 70,044円 連絡車両燃料費・保険料 58,585円 DVD作成費 74,125円 郵便料 16,493円 コピー機賃借及び使用料 42,838円 パソコン等使用料・修繕費 68,060円 ※事務室等使用料は含んでいません。 ライスパワー体操のDVD作成費について、販売収入(100円×4枚＝400円)を充当して計上 74,525円-400円＝74,125円
一般管理費	417,000	437,775	20,775	（人件費＋連絡車両維持費＋事務費）8,304,225円×10%=830,422円 >437,775円【5.27%】 当初予算5%（参考：総務省が示す一般管理費上限額は10%）
消費税	874,200	874,200	0	消費税（１０％） 8,742,000円×10%=874,200円
合 計	9,616,200	9,616,200	0	

令和3年度 北空知地域医療介護連携支援センター事業(地域医療・介護連携推進事業) 予算(案)

収入				
項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	11,097,900	10,820,700	△ 277,200	各市町負担金 深川市 4,669,132円 妹背牛町 1,620,941円 秩父別町 1,505,971円 北竜町 1,401,280円 沼田町 1,623,376円 計 10,820,700円
合 計	11,097,900	10,820,700	△ 277,200	

支出				
項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	8,372,000	8,174,000	△ 198,000	北空知地域医療介護連携支援センター業務に係る人件費 7,430,621円(市立病院正規看護職員平均給与費)×1.1≒8,174,000円
連絡車両維持費	176,000	134,000	△ 42,000	年間車両レンタル料＋タイヤ経費 401,600円／台×1/3(車両利用割合)≒134,000円(ウイッシュ)
事業費	600,000	600,000	0	北空知地域医療介護確保推進協議会 協議会各会議体の開催経費、事業案内経費 運営会議 講演会・研修会等の講師謝礼・会場使用料・資料作成費など Ⅰ医療介護相談・在宅生活支援部会 パンフレット作成経費 Ⅱ多職種連携・地域啓発部会 ホームページ作成・更新・管理経費など
事務費	460,000	460,000	0	事務費(固定)460,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	481,000	469,000	△ 12,000	当初予算(人件費＋連絡車両維持費＋事業費＋事務費)9,371,000円×5%≒469,000円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	1,008,900	983,700	△ 25,200	消費税(10%)9,837,000円×10%=983,700円
合 計	11,097,900	10,820,700	△ 277,200	

令和3年度 地域リハビリテーション活動支援事業 予算(案)

収入				
項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
委託料	9,616,200	9,401,700	△ 214,500	各市町負担金 深川市 5,362,728円 妹背牛町 1,125,195円 秩父別町 965,367円 北竜町 819,829円 沼田町 1,128,581円 計 9,401,700円
合 計	9,616,200	9,401,700	△ 214,500	

支出				
項目	前年度予算額	予算額	増減額	積算等内訳
人件費	7,553,000	7,368,000	△ 185,000	北空知地域リハビリテーション活動支援事業に係る人件費(令和2年度から複数で担当) 8,185,905円(事業従事割合による作業療法士給与費)×0.9人区≒7,368,000円
連絡車両維持費	422,000	422,000	0	年間車両レンタル料 422,000円(イグニス)
事務費	350,000	350,000	0	事務費(定額)350,000円 旅費・参考図書・消耗品費・燃料費・光熱水費・印刷製本費・通信運搬費・使用料及び賃借料・負担金など
一般管理費	417,000	407,000	△ 10,000	当初予算(人件費＋連絡車両維持費＋事務費)8,140,000円×5%≒407,000円 (参考:総務省が示す一般管理費上限額は10%)
消費税	874,200	854,700	△ 19,500	消費税(10%)8,547,000円×10%=854,700円
合 計	9,616,200	9,401,700	△ 214,500	